

4/21  
朝日

## 介護報酬改定 職を失つた私

介護福祉士

(岡山県 40)

3月末で職を失いました。在宅介護を中心に行っている会社に就職し、ヘルパー事業所部門の管理者として3年間働いていました。4月の介護報酬見直しで、サービスを提供した事業者に支払われる介護報酬が引き下げられたため、「採算が合わなくなつた」として、経営陣が事業所の閉鎖を決定したのです。私は、自宅で介護を受けながら生活している約50人の高齢者との家族がいます。もちろん私もスタッフにも守らなければならぬ家族がいます。介護を

受けられていた方々は別の事業所に引き継ぐことができましたが、私はアルバイトをしながら次の就職先を探しています。

国は施設ではなく自宅での生活を勧めていますが、私の周りでは、在宅生活を支える基礎であります。ヘルパーステーションが休止や統合をしたり、要介護度の低い「要支援者」への訪問介護を断る事業所が増えたりしています。介護報酬引き下げは現場を知らないからこそできることが多い。早く撤退した事業者が利口なのか、踏ん張った方が勝ちなのか分かりません。とにかくスタッフや利用者は大きな思いをしていきます。